

2026.2.15

ギカイ の ひろば

◆CONTENTS

まちづくりの後期5か年計画を可決
議員はココに注目した! ▶P6~P9

横田基地外に降着
～事故防止の要請～

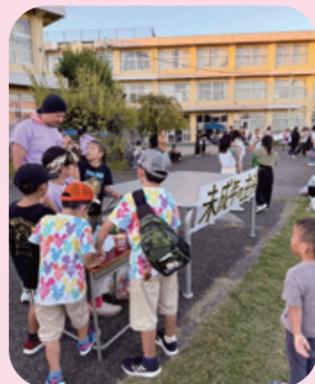
▶P18



小・中学校のPTA 役員の皆さん

～子ども・学校・地域をつないで～

ある時は学校と子どもたちと地域をつなぐ接着剤、また、ある時は子どもたちの安全・安心のサポーター、そして、またある時は子どもたちの思い出作りのクリエイターとして活躍しているPTA。今回は、PTAの役員の皆さんにお話を伺いました。



一小フェスティバル



畠山 友里さん (二小副会長)
PTA 連絡協議会会長

長岡地区の納涼祭を二小で開催しています。子どもたちと踊る瑞穂音頭は楽しい時間です。



榎本 修一さん (一小会長)

体育館工事でできなかった「一小フェスティバル」を工事終了後には再開したいですね。



館岡 佐名絵さん (四小副会長)

子どもたちが、しっかりと楽しく学べる環境を保護者みんなでつくっていききたいです。



大住 若菜さん (四小会長)

昨年度からパルーンイベントを実施しています。校長先生との協働で実現できました。子どもたちのいい思い出になったらいいなあ。



オグデン 綾さん (三小代表窓口)

会員は、皆さんボランティアとして無理のない範囲で参加してもらっています。モノレール早く来ないかなあ。



中沢 清さん (二中会長)

世界で活躍している方に講演をお願いしました。毎週金曜日にソフトバレーボールを実施しています。楽しい交流ができるので保護者の皆さん、是非ご参加ください。



吉岡 恵さん (瑞中会長)

瑞中の先生方、役員、会員、皆さんが協力してくれて本当にありがとうございます。子どもたちと一緒に人も組織も成長していきたいですね。



並木 友香さん (二小副会長)

引っ越してきたばかりですが、役員を引き受けました。会長の足を引っ張らないように… (笑)。



瑞P連親睦球技大会の運営 (二小)



ソフトバレーボール練習への参加者 (二中)



PTA防災訓練でマンホールトイレを組み立てている様子 (瑞中)



学校公開日に行った防災訓練 (三小)

コラム

「子どもたちが一度瑞穂町を離れてもまた戻ってきたいと思える町になってほしい」「子どもたちがすくすく育つ環境を守っていききたい」。

今回、参加された皆さんは、こんな想いをもって役員を引き受けました。また、そのために、もっと多くの方が子どもたちと触れ合えるようにと、役員の負担や組織体制などの見直しを進めています。仕事・家庭とPTA活動を両立しようと奮闘する先には、子どもたちや町の明るい未来への種がまかれているのだと思います。

インタビューのご協力ありがとうございました。

令和7年第4回瑞穂町議会定例会議案

全会一致で可決（同意）された議案等

議案第	87号	瑞穂町長期総合計画後期基本計画の策定について
議案第	88号	瑞穂町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
議案第	89号	瑞穂町保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第	90号	瑞穂町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例
議案第	91号	瑞穂町固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第	92号	殿ヶ谷財産区管理会管理委員の選任について
議案第	93号	瑞穂町産業会館の指定管理者の指定について
議案第	94号	瑞穂町シルバーワークプラザの指定管理者の指定について
議案第	95号	瑞穂町心身障害者（児）福祉センターあゆみの指定管理者の指定について
議案第	96号	瑞穂町精神障害者地域活動支援センターの指定管理者の指定について
議案第	97号	瑞穂町精神障害者共同作業所の指定管理者の指定について
議案第	98号	令和7年度瑞穂町一般会計補正予算（第7号）
議案第	99号	令和7年度瑞穂町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
議案第	100号	令和7年度福生都市計画瑞穂町箱根ヶ崎駅西土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）
議案第	101号	令和7年度瑞穂町介護保険特別会計補正予算（第2号）
議案第	102号	令和7年度瑞穂町石畑財産区特別会計補正予算（第2号）
議案第	103号	令和7年度瑞穂町下水道事業会計補正予算（第1号）
議案第	104号	瑞穂町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第	105号	瑞穂町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
議案第	106号	瑞穂町の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第	107号	瑞穂町教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例
議案第	108号	瑞穂町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
議案第	109号	令和7年度瑞穂町一般会計補正予算（第8号）

pick up2

議案第98号 令和7年度瑞穂町一般会計補正予算（第7号）

中学校 35人学級に向けて

Q 瑞穂中学校の教材備品購入費として約28万円の予算が追加されているが内容は。

A 8年度から全国的に35人学級となり、瑞穂中学校では1年生が4クラスから5クラスになることが想定される。そのため、学習用タブレットの保管庫を1クラス分追加する必要があるため予算計上した。



タブレット保管庫

※全ての議案の詳細はHPでご覧になれます。



令和7年第2回瑞穂町議会臨時会議案

全会一致で可決された議案

議案第	83号	町立瑞穂第二小学校講堂空調設備設置工事請負契約について
議案第	84号	町立瑞穂第三小学校講堂空調設備設置工事請負契約について
議案第	85号	町立瑞穂第五小学校屋内運動場空調設備設置工事請負契約について
議案第	86号	町立瑞穂中学校講堂空調設備設置工事請負契約について

pick up1

議案第83号~86号

二小・三小・五小・瑞中の体育館にガスヒートポンプのエアコン設置

夏季における熱中症対策および学習環境の向上ならびに災害時における避難所機能の維持および向上を目的に、ガスヒートポンプの空調設備を体育館（講堂、屋内運動場）に新設します。停電時は、バッテリー電源によりガスエンジンを駆動させ、発電機を回すことで、必要な電力を確保することができます。

議案第83号から議案第86号までの4議案について、一括で質疑を行いました。



空調工事の様子（瑞穂中学校）

Q 五小と瑞中にのみLPガス発電機を導入する理由は。

A 体育館の構造上あるいは大きさの関係で、空調設備の能力を高くしたり台数を増やす必要があるため、高額となってしまいます。高額となる2校については、空調設備と発電機を一緒に設置することで経済産業省の補助金をより多く確保することができるため、この形式としている。

Q 工期が3月27日までとなっており、3月は卒業式と被るが、その対応は。

A 卒業式は、当日だけでなく練習の時間が必要になるので、そこも十分対応ができるように、業者や学校と詰めていきたい。

Q 一つの業者が2校の工事請負契約を締結しているが、同じ業者が二つ受注すると、合計1億円を超える契約金額となるが、受注期間の制約などは受けないのか。

A 令和7年9月定例会の時には2校を1件の契約とし、金額が1億円を超えていたが、今回は1校ずつ入札をした。こちらの業者は、両方とも受注が可能であることから入札に応じていただけたと理解している。

※全ての議案の詳細はHPでご覧になれます。



まちづくりの 後期5か年計画を 議員が総点検

2日間にわたり延べ136件の質疑 まちづくりの後期5か年計画を可決

長期総合計画
後期基本計画
質疑を
ピックアップ

12月の議会には、長期総合計画後期基本計画の策定についての議案が町から上程されました。基本計画は5年ごとに見直しを行っており、今議会では8年度から12年度までの5年間の計画案が議会に示されました。長期総合計画後期基本計画特別委員会での審査後、全会一致で可決しました。



長期総合計画後期 基本計画特別委員会で審査

議案が上程された後、議会では、長期総合計画後期基本計画特別委員会を設置し、委員長に下野義子議員、副委員長に井上一也議員を選出。議長を除く13名により、2日間にわたって町側へ質疑を行いました。

基本計画 基本目標4

つながりと活力にあふれるまち

Q 新しい産業の創出、イノベーションの主要な取組における、同・異業種間の人材交流の推進方法は。

A 町の補助金に他企業などと連携して開発するメニューがあり、連携可能な体制は整えている。また、商工会の部会で人材交流は図られている。

Q 町のスマート農業の考え方は。そのサポート体制を農協と密にしていくことを考えていけないのか。

A 町に合ったスマート農業を進めていく。小さな農家でも活用できるスマート技術があるので、農協も巻き込みながら、引き続き情報を集めて推進していく。

Q 「町の観光資源を生かし、多摩都市モノレールとの組み合わせによる相乗効果が起きるよう、新たな価値の創出につとめる」とあるが、どのような方法で相乗効果を起こすのか。

A 町最大の自然資源は狭山丘陵である。今は、箱根ヶ崎駅からそこまで歩くマップを作成し、配布などを行っているが、今後新駅ができれば、違ったアプローチも出てくると期待している。

基本計画 基本目標1

誰もが健康ですこやかに暮らせるまち

Q がん検診受診率の現状値に対して、12年度の目標値が非常に高いが、具体的な施策は。

A 都の目標数値である60%を採用している。がん検診の付加価値などを高め、受診率の向上に努めていきたい。乳がん、子宮がん検診の無料クーポン券事業、五つのがん検診の受診勧奨および再勧奨を行い、受診率の向上などに努めていく。

Q 「地域におけるスポーツ指導者・スポーツボランティアなどの人材発掘と育成」とあるが、具体的な取組は。

A 人的資源の情報収集を行い、総合人材リストに登録していただき、そのリストの活用や拡充に努めたい。スポーツ指導者講習会を開催し、人材の育成を継続していく。

基本計画 基本目標5

環境にやさしい安全・安心なまち

Q 防災訓練の12年度目標参加者数2,300人に対し現状は1,300人程度だが、達成できるのか。

A 学校と合同での訓練や、最新防災グッズの展示など「興味を引く工夫」を凝らし、参加者増を目指す。



防災訓練（一小）

Q 温室効果ガスの排出量抑制の取組は。

A 温室効果ガスの削減を呼びかけている。また町内の工場、商業施設と町で協定を組み、廃食用油からSAF（持続可能な航空燃料）の製造を行う。

基本計画 基本目標2

子どもたちがのびのびと育つまち

Q 不登校などで学校に行けない子どもたちの学びが途切れないようにするための具体的な学習の保証は。

A 学習の保証については、オンライン授業、スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問、教育支援室「いぶき」での授業補習指導など三つの取組を行っている。

Q 学童保育クラブの充実で、「施設の増改築などによる学童保育環境の整備」とあるが、この増改築、環境整備の方向性は。

A 六つの学童保育クラブのうち、西松原学童が建設から32年が経過し、四小学童も23年が経過する施設であり、老朽化なども踏まえて、大規模改修もしくは改築・増築などを今後5年間のうちに検討する時期に来ている。



西松原学童保育クラブ

基本計画 基本目標6

便利で快適に暮らせるまち

Q 空き家対策の推進の中に、空き家の利活用は含まれているのか。

A 都市計画審議会で審議中だが、住宅マスタープランに空き家等対策計画を盛り込んでいる。その中で空き家の利活用についても、取り組む必要があることを掲載する予定である。

Q モノレール延伸効果を町全体に波及させるための駅へのアクセス向上策は。

A 交通結節点の整備を行い、それらを結びコミュニティバスなどの交通手段の充実を図ることで、町全体で交通利便性の向上を実感できるよう数々の施策を検討している。

※計画の詳細はHPでご覧いただけます。



瑞穂町・武蔵村山市の子どもたちが描いた絵がラッピングされた多摩都市モノレール

基本計画 基本目標3

豊かなところを育むまち

Q 町内会・自治会、自主防災組織の支援・強化施策をどのように取り組むのか。

A 地域づくり補助金による支援を行っている。町内会・自治会の負担軽減に努め、デジタルツールの活用なども研究していく。

Q 駅西口公有地の「にぎわい創出」の具体的な目標は。

A 駅西の使い方や集客状況を把握するために、一般の方に無償で貸出を実施している。数値目標は現時点で調査中であり、状況把握後に目標を設定する予定。

基本計画 基本目標7

総合計画の実現に向けて

Q 「公共施設などの集約化・複合化・除却の検討」とあるが、どのように進めていくのか。

A 行政改革推進本部会議を利用して、来年度から検討を進めたい。

Q 「住民にわかりやすい情報提供・情報共有」とある。青少年の主張でも町はもっとPRをした方が良いとの意見があったが、どのように進めていくのか。

A デジタル推進課、協働推進部をはじめ、住民の声を聞く場には積極的に出向いて声を聞き、反映させていく。





古宮 議員

地域資源の充実・活用

複数の要素を組み合わせ、新しい地域資源の可能性について探求。地域ポテンシャルの発掘に期待する。



下澤 副議長

モノレール

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸と、それに関連する各種取組の成果に期待されている相乗効果の具体的な現れ方に注目。



香取 議員

まちの利便性向上

住環境や交通・移動などの利便性向上に努め、若い世代・子育て世代の定住促進につながることを期待する。

公共施設マネジメント

多摩都市モノレール延伸に伴う新たなまちづくりを検討する中で、公共施設の再配置や機能の集約化に注目したい。



小川 議長

快適な学校施設

「快適かつ安全・安心な学校施設の維持・整備の推進」に前期記載の「快適なトイレ」も含まれ、洋式化が進むことを期待する。



原 議員



長期総合計画後期 まちづくりの

基本計画 後期5か年計画



議員はココに 注目した!

計画に対する議員個人としての見解です

福祉サービスの充実

地域区分の見直しで事業者進出が進んでいる。基幹相談支援センターによるニーズに即したサービス提供に期待。



川島 議員

多摩都市モノレール 新駅周辺まちづくり

町の活性化や人を呼び込める施策になるか懸念が残るとともに、地域体育施設の計画は地域の人々が利用する施設では。



榎本 議員

シティプロモーション

町の良いところ、良い施策を広く住民に伝え、満足してもらえる取組に期待する。



下野 議員

スポーツ施設などの 整備

町保有の施設の集約化・統廃合を見据え、施設整備・更新計画を策定。今後の個別計画に反映していくことに期待する。



大和 議員

観光・イベント

町の観光資源を生かし、多摩都市モノレールとの組み合わせによる相乗効果を図る施策に期待する。



高橋 議員

環境にやさしい生活

再生可能エネルギーの推進、温室効果ガス削減の取組や地球温暖化・気候変動トップの取組に期待。



大坪 議員

町民と共有するビジョン

各課の効率的な運営については理解できるが、町民と共有し、ともに作り上げていこうという町の将来ビジョンが見えてこない。



森 議員

瑞穂町の魅力を 生かしたまちづくり

瑞穂町の持つ魅力を最大限に生かしつつ、モノレール延伸を契機としたまちづくりの展開に、大いに期待する。



井上 議員

協働型社会の推進

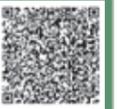
住民、企業、各種団体などと行政が協力し、地域課題解決に向け瑞穂町協働宣言や瑞穂町協働事業ガイドラインに沿った施策実現に期待。



浜崎 議員

川島 靖弘 議員 (立憲民主党)

アドバンス・ケア・プランニング (ACP)の普及促進について



町長 ACPの意義や進め方を周知していく



質問 人生の最終段階における医療や介護について、自分の思いを家族や関係者と話し合うアドバンス・ケア・プランニングの重要性が高まっている。自分では判断できない終末期の医療や介護について、気軽に話し合っ

これらの取組の理解と対応力の向上を図る。

町長 住民が必要な情報への検索性を高めるため、適切にホームページを運営する。

「人生会議」という愛称がつけられている。町民が自発的に人生会議に取り組み、町としてどのような支援や環境づくりができるのか。また、普及啓発や関係機関との連携強化について所見を伺う。

「人生会議」は、今後東京都作成の啓発冊子を紹介・配布するとともに、西多摩地域広域行政圏協議会の住民向け講演会などの運営に関わっていく。また、町が発行する広報紙やホームページでACPの意義や進め方などを周知していく。関係機関との連携は、町内医療機関などの研修を通じて、



ACPロゴマーク

質問 令和7年10月1日現在、町内在住外国人は1,197人であるが、地域の防災訓練に参加している人数は少ない。言語や文化の違いもあり、災害時には避

難情報が日本語中心で伝わるため、理解できず危険に陥る可能性がある。外国人の災害時の安全・安心を確保するために次の3点を伺う。

町長 外国人を対象とした防災訓練の実績と今後の取り組みは、

町長 町では8か国語で書かれた「外国人のための安心ガイドブック」を作成し、転入時に配布している。これからも都と連携し情報発信、情報提供に努める。

高橋 洋子 議員 (自民誠和会)

町内在住外国人への防災対策について



町長 今後も防災対策などの情報を発信していく



日本語教室で外国人のための安心ガイドブックを読む外国人

大和 雅彦 議員 (自民誠和会)

小・中学校の水泳指導の外部委託化を



教育長 最善の方法を選択したい



質問 水泳の授業を近隣のプール施設を持つ民間事業者に委託する動きが全国に広がっている。

面を含めた取組を参考にしながら、最善の方法を選択したいと考えている。

町長 町独自で迷惑電話対応の自動通話録音機の貸与などを行っている。

井上 一也 議員 (もっと瑞穂に笑顔)

もっと魅力あるNo.6駅周辺のまちづくりへ



町長 今後も、まちづくりの検討を深度化していく



町で策定したモノレール関連のまちづくり計画など

町長 現在、学識経験者を交えた議論を行い、具体的な拠点の要件などを検討中であるため、スマート農業施設の誘致などの具体的申し上げられる内容はない。今後も、都を含めた産官学との連携を密

「防災道の駅」などの設置にも魅力を感じるが、見解を伺う。

既に導入済みの自治体では、天候に左右されず年間を通じて水泳指導を計画・実施でき、教員の負担軽減にもつながっている。また、専門的な指導で泳力向上が期待できる。町の小・中学校のプールは老朽化が課題であり、委託することで施設改修と維持管理の経費削減ができる。これらのことから、水泳指導の外部委託をすべきと考えるが所見を伺う。

り方を含め、長期的な視点を持って進めていく必要がある。今後行われる学習指導要領の改訂に伴う国の学校における水泳指導の方針などに従い、猛暑に対して安全面を確保して実施すること、近隣に設置されている屋内プール施設を連携して利用すること、近隣の自治体の費用

教育長 水泳指導の在



福生の教育第87号の表紙より一部抜粋

高齢者施策の課題と今後の展望について問う



町長 補聴器購入費助成事業の実施を準備

質問 高齢化が進行し、住み慣れた地域で健康かつ自立した生活を継続できるような施策の重要性が増している。特に、要介護認定を受けていない、または要介護度が低い「元気な高齢者」に対する予防施策は、健康寿命の延伸、医療費・介護費の適正化に不可欠である。

町長 町では、第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に



質問 コミュニティバスとデマンド交通は、交通不便地域の住民の移動手段として重要な位置を占めている。利便性向上のためのさらなる取り組みについて、次の2点の所見を伺う。

町長 免許返納者や高齢者を優遇する施策に留まらず、社会参加を促す視点が重要である。外出の動機づけを促し、公共交通のリーダーを獲得する仕組みづくりのため、公共交通と連携した施設や店舗における割引などを実施を、今後研究する。

下澤 章夫 議員 (自民誠和会)

コミュニティバス、デマンド交通のさらなる取り組みについて



町長 引き続き利便性の向上に取り組む



町内を走るコミュニティバスとデマンド交通「チョインソコみずほまち」

原 隆夫 議員 (公明党)

教室に内線電話を設置するなど不審者侵入対策の強化を



教育長 内線電話の設置は、現時点では難しい

質問 令和7年5月、またの配置、警察と連携した訓練、非常通報装置の設置、危機管理マニュアルの策定およびそれに基づく訓練などを通して、児童・生徒の安全確保に努めている。内線電話の設置は、防犯面だけでなく、急病対策としても有効なことは承知しているが、高額な設置費用が見込まれるため、補助金の獲得見込みがない現時点では難しいと考える。

古宮 郁夫 議員 (自民誠和会)

学校教育、国の指針と町の裁量について



教育長 最重要課題を学力向上とする

質問 文部科学省は2024年度に実施した「経年変化分析調査」の結果を公表し、小・中学校4教科について、学力の大幅低下の改善に取り組みとした。国は、教育課程編成の

基本的考え方を示し、部局と協議した上で教育課程に関する法制上の仕組みを整え、国の指針や総則を定め、取り扱いを規定する。他方、町は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、その役割を担ってきた。町の裁量とは何か、施策展開のこれまでと今後の取り組みを伺う。

教育長 各学校の教育課程は、学校を設置する自治体の教育委員会が規則を定め、町長が管理し、町長



質問 令和7年5月、またの配置、警察と連携した訓練、非常通報装置の設置、危機管理マニュアルの策定およびそれに基づく訓練などを通して、児童・生徒の安全確保に努めている。内線電話の設置は、防犯面だけでなく、急病対策としても有効なことは承知しているが、高額な設置費用が見込まれるため、補助金の獲得見込みがない現時点では難しいと考える。



生成AIが作成した内線電話のイメージ

石川県白山市『市民提案型まちづくり事業について』

石川県白山市では、人口減少や高齢化、地域間格差の拡大といった社会的課題があり、地域の担い手不足や生活基盤の維持が困難となっていました。そのため市では、活力あるまちづくりを目的として、市民が主体となって行動することを支援する「白山市市民提案型まちづくり事業(補助制度)」を平成30年からスタートさせました。これは、上限50万円で、各種市民団体に対し補助する制度でしたが、担い手不足や多様な地域課題を解決するための次の段階として、“地域でできることは、地域で知恵や発想を出して取り組む”仕組みが必要という考えから、令和5年度に「地域コミュニティ条例」が制定され、全28地区に「コミュニティ組織」を設立しました。制度導入にあたっては、平成29年度から市長自らが全地区を訪問し、住民との対話を重ねてきました。地域コミュニティ組織と連携しながら町内会活動も継続され、町内会は住民にとって一番身近な組織として機能しており、それぞれが地域づくりにおいて重要な役割を担っていました。瑞穂町も町内会加入率が減少し、今後、どのようにコミュニティの形成を図っていくのかは大きな課題であるため、瑞穂町においても、モノレール延伸に伴うまちづくりや地域課題の解決のためには、町民との協働によるまちづくりはとて参考となりました。



福井県あわら市
その他視察先
「芦原温泉駅前周辺整備事業について」
石川県かほく市
「空き家対策について」

◎委員長 ○副委員長
◎香取 幸子 ○大和 雅彦
小川 龍美 下野 義子 古宮 郁夫
高橋 洋子 川島 靖弘

多世代交流センター MIZCUL

厚生文教委員会では、5月にオープンした多世代交流センター MIZCULについて、現在の状況の調査および確認を行い、今後の参考とするため、現地視察を行いました。

当日は、施設内の各スペースを見学するとともに、指定管理者から、開設以降の利用状況や、子どもや若い世代へのアプローチ、イベントやプログラムの工夫などの取組について説明を受け、幅広く意見交換を行いました。

MIZCULは、町の理念がしっかりと形になった施設であり、多世代交流の「土台」はすでに整っています。一方で、立地条件や情報発信の方法などにより、まだ十分に魅力が伝わりきっていないため、今後の工夫次第で利用の幅がさらに広がる余地があると考えられます。

今後はより一層、町民の声や地域ニーズを柔軟に取り入れることで、「行ってみたい」「また来たい」と思える施設へと成長していくことが期待されます。



◎委員長 ○副委員長
◎榎本 義輝 ○原 隆夫
森 巨 大坪 国広 下澤 章夫
井上 一也 浜崎 崇 小川 龍美(議長)

全国的にも少ない、町長の医療機関の数は、町民の健康維持に重要な役割を担っている。公立福生病院の整形外科は、基本、予約制であり、かかりつけ医からの紹介状などが必要となる。入りの整形外科クリニックの誘致や医師派遣による一時診療などを検討すべきと思うが、所見を伺う。



生成AIが作成した整形外科クリニックのイメージ

公立福生病院の整形外科は、基本、予約制であり、かかりつけ医からの紹介状などが必要となる。入りの整形外科クリニックの誘致や医師派遣による一時診療などを検討すべきと思うが、所見を伺う。

町長 正しい知識の普及が重要。早速担当者に対応を指示した。

榎本 義輝 議員(自民誠和会)



整形外科クリニックの誘致等を



町長 他自治体の取組について研究を続けていく

陳情

解説 陳情とは…町などの公共機関に対して実情を訴え、要望する行為。

7陳情第10号 瑞穂町内の小・中学校における「いじめ」をなくす取り組みに関する陳情

厚生文教委員会で審査 【陳情者】 一般社団法人 共存共栄クラブ 代表 伊藤 豪

【陳情の趣旨】

- 瑞穂町内の小・中学校における「いじめ」の発生件数を減らすために、下記事項を実施願いたい。
- ① 瑞穂町内の小・中学校における月間、年間の「いじめ」の認知件数を、瑞穂町のホームページ内の目に付きやすいところに公開すること。
 - ② その数値から数値目標を設定し、それもホームページで公開し、町民と共有すること。
 - ③ 町民と協力し、その目標を達成する努力をすること。

担当部署への主な質疑

- Q 件数の把握状況は。
A 月ごと、年ごとで把握している。町の6年度のいじめの認知件数は、小学校で73件、中学校で21件である。
- Q いじめと不登校の関連は。
A 町の6年度の不登校児童数は47名、生徒数は110名いる。いじめ要因の不登校は令和6年度にはなかった。そのような事例は、重大事態として取り扱うことになっている。
- Q HPIに載せた場合に起こりうることは。
A 認知件数を公表しても個人特定はないと考えるが、数値をよくするために相談しにくい状況が起きることは懸念される。

議員間討議での主な意見

- いじめをなくすことは件数でなく、いじめの内容をしっかりと把握することが重要。
- いじめの基準はあるが、認知方法や判断が統一されていない中、件数だけで評価するのはどうか。
- 認知件数を公表することが、いじめを減らす解決になると思えない。
- 陳情への一定の理解はできるが、現状教育委員会として把握しているし、学校は適切に対応されていると感じる。

※陳情の詳細はHPでご覧いただけます。

委員会での審査結果は不採択とすべきものとなり、その後、本会議で不採択が議決されました。





住民の声を広く聴取し、議会運営に反映させることで、町民にとって身近で親しみやすい議会を目指しています。

議会モニターの主な役割

- ▶ 議会が行う傍聴が可能な各種会議（本会議、委員会など）を可能な範囲で傍聴し、会議に関する意見を述べることができます。
- ▶ 瑞穂町議会だより「ギカイのひろば」・瑞穂町議会ホームページに関する意見を述べるすることができます。
- ▶ 委員会などから要請があった場合、会議に出席し、求めに応じて意見を述べるすることができます。

応募資格 次のすべてに当てはまる方

- ・ 町内に在住、または在勤する18歳以上の方
- ・ 前向きで建設的な話し合いに協力できる方
- ・ 国または地方公共団体の議員（元議員を含む）や、常勤の公務員でない方

- **募集人員** 7名以内 ※再任は妨げません。
- **任期** 令和8年4月1日より令和9年3月31日
- **謝礼** 議会モニターは無償となります。

応募締切

令和8年3月10日(火)まで (必着)

申込み・お問い合わせ

議会事務局議事係 ☎557-7693 (直通)

次回 3月定例会 (予定)

2月27日～3月24日

日	月	火	水	木	金	土	
8	2月	9	10	11 建国記念の日	12	13 請願、陳情の 受付締め切り日	14
15		16	17 議会運営委員会	18	19	20	21
22		23 天皇誕生日	24	25	26	27 本会議 (一般質問)	28
1	3月	2 本会議 (一般質問・議案審議)	3 本会議 (一般質問・議案審議)	4	5 総務産業建設委員会	6 厚生文教委員会 広報広聴委員会	7
8		9	10	11 予算特別委員会	12 予算特別委員会	13 予算特別委員会	14
15		16	17 予算特別委員会 (議員間討議)	18	19 議会運営委員会	20 春分の日	21
22		23	24 本会議 (議案審議)	25	26	27	28

■本会議、委員会の開始時刻は午前9時30分からです。なお、広報広聴委員会および3月19日の議会運営委員会の開始時刻は午後1時30分からになります。上記の日程は予定ですので、進捗状況によって、本会議が休会になる場合もあります。傍聴に来られる際は、お電話または、ホームページで日程をご確認のうえご来庁ください。

お問い合わせ 議会事務局 ☎557-7693 (直通)

編集後記



耕心館のひな飾り

5年前に10年後の町の姿を描き計画された町の最重要計画「長期総合計画」。今回は5年経過して計画の見直しをする重要な審査がありました。どんな立派な計画を立てても最後は理念を共感し行動をとる「人の輪と力」が大切です。

一人でも多くの読者の皆さまが「輪」の中に入って「力」を発揮してくれたら、きっと素敵な町になるでしょう。

文：森 亘

広報広聴委員会 広報部員
 森 亘 榎本 義輝
 大和 雅彦 井上 一也
 川島 靖弘 浜崎 崇



瑞穂町議会

検索

●インターネットで議会録画中継をご覧になれます。